

News Letter

第3号 2016年7月27日発行

思案中?

誰でも来られるギャラリーって、どんなところ?

◆せっかく作った作品を多くの人に見てもらいたい!

◆赤ちゃんを連れて行っても大丈夫?

みんなの美術館③

参加者募集!

第3回市民講座を開催します。これまで多くの施設が「バリアフリー」の整備をすすめてきました。誰もが、「行きたいところ」に行けるようになるために、「バリアフリー」はとても大切です。さて、今回は、「展覧会」を開催するギャラリーを例に、バリアという言葉の意味や環境について考えます。ギャラリーは、作品を通して、鑑賞者との間にコミュニケーションが生まれる素晴らしい空間です。だから、誰でも訪れることができます。当日は、実際に展覧会ナビゲーターの濱口君と一緒にギャラリーを見学しながら、課題と解決の提案をします。そして、8月17日～21日まで開催される「ひろげよう ぼくのつばさ わたしのつばさ展 2016」で検証します。参加者のアイデアで、ぜひ、多くの人を楽しめるギャラリーをつくりましょう。



日時 2016年8月6日(土)14:30～17:00
 会場 伊勢山皇大神宮「開明の間」
 (会場情報は、<http://www.iseyama.jp/access.html>)

参加 20名/無料 中学生～
 講師 霜田 恵(社会福祉法人青い鳥)
 特別参加 濱口 瑛士(本展覧会ナビゲーター)

申し込みはホームページ

<http://www.aotori-y.jp/form/01tokubetu.html>
 詳細:http://www.aotori-y.jp/13_tokubetu.html

2016年6月4日(土)みんなの美術館①②を開催しました。「アートでつながる」をテーマに、①ジュリア・カセムさんはインクルーシブデザイン、②佐藤直子さんはフェローアートギャラリーとあざみ野アート&ワゴンを紹介し、「誰でも来られるギャラリー」を考えました。みんなの美術館③では、①②に参加していない人にも、その内容を紹介します。



こんな素敵な騎士が
守ってくれたら安全ですね!



お問い合わせ
<http://www.aotori-y.jp>
 社会福祉法人青い鳥
 展覧会担当 045-321-1787